

## 「人と自然が織りなす日本の風景百選」フォーラム開催概要

開催日時 2005年9月25日(日) 10:00～12:00

会場 瀬戸会場 市民パビリオン内 対話劇場

テーマ 「残したい心、伝えたいメッセージ」

### フォーラム次第

- 10:00～10:10 オープニング 「日本の風景百選」セレクション映像 上映  
子どもコーラス隊による「四季メドレー」の合唱
- 10:10～10:20 事業紹介 日本の風景百選事業紹介・優秀作品の紹介
- 10:20～10:25 日本の風景百選 上映
- 10:25～12:00 パネルディスカッション 選考委員によるパネルディスカッション  
「残したい心、伝えたいメッセージ」  
エンディング 子どもコーラス隊によるフィナーレ合唱

### パネラー紹介

市川 建夫 氏

■東京学芸大学名誉教授 専門:人文地理学 地誌学(理学博士)

飯田 喜四郎 氏

■博物館明治村館長 名古屋大学名誉教授 専門:西洋建築史(工学博士)

只木 良也 氏

■プレック研究所生態研究センター長 名古屋大学名誉教授 専門:森林生態学(農学博士)

前田 惠學 氏

■愛知学院大学名誉教授 速念寺和上 文化功労者

専門:仏教学 仏教史学 現代仏教学(文学博士)

水谷 研治 氏

■中京大学大学院教授 ビジネス・イノベーション研究科長 エコノミスト

専門:経済 景気(経済学博士)

### コーディネーター紹介

涌井 史郎 氏

■桐蔭横浜大学工学部教授 桐蔭横浜大学先端医用工学センター長 桐蔭メモリアルアカ

デミウム副館長 専門:造園学

## 参考

### 【「人と自然が織りなす日本の風景百選」これまでの経緯】

年月	
2001年11月	名鉄グループの博覧会支援事業として「人と自然の共生・原風景100選」事業の立ち上げ
2002年1月	「人と自然が織りなす日本の風景百選」に名称を変更
2002年2月	2005年日本国際博覧会協会の「愛・地球博パートナーシップ事業(民間企業環境部門第1号)」に登録
2002年3月	第1回候補地の募集開始
2002年5月	第1回候補地の募集締め切り(644カ所の応募)
2002年10月	第1回候補地「143カ所」を発表
2002年11月	第2回候補地の募集開始
2003年3月	第2回候補地の募集締め切り(427カ所の応募)
2003年8月	第2回候補地「68カ所」の決定
2003年9月	第1回・第2回候補地「211カ所」を対象とした写真募集開始
2004年8月	写真募集の締め切り(約600点の応募)
2004年12月	最終選定地「103カ所」の決定&写真審査会開催
2005年1月	最終選定地「103カ所」&写真審査会の結果発表

※ 主な選定地および写真審査会の結果は以下のとおりです。

#### 主な選定地

- 道東根釧台地の防風林(北海道)
- 霞ヶ浦の帆引き舟(茨城)
- 砺波平野の散居村(富山)
- 日本の三大美林・木曾檜林(長野)
- 白川郷・越中五箇山の合掌造り民家(岐阜・富山)
- 伊勢神宮と宮域林(三重)
- 丹後伊根町の舟屋のある風景(京都)
- 讃岐平野の溜池灌漑(満農池)と条里制遺構水田(香川)
- 福岡県央・朝倉町の三連水車(福岡)
- 八重山諸島・竹富島の民家(沖縄)

#### 写真審査会の結果

優秀賞…霞ヶ浦の帆引き舟(以上1点)

特賞…十勝岳山麓に広がる田園風景、山岳信仰の出羽三山、砺波平野の散居村、輪島市白米の千枚田、「日本のチロル」遠山郷の急傾斜畑、丹後伊根町の舟屋のある風景、京都洛西の竹林、大和明日香村の風景、弘法大師空海が開山した高野山、阿蘇山麓・矢部町の通潤橋、神々のふるさと・高千穂峡(以上11点)

※ 詳細は、<http://www.expo-fuukei100.com/index2.html>でご覧いただけます。

以上